

最近、まちなかやお店で多くの外国人の方を見かけます。

多摩市で生活する外国人市民は、昨年末4,000人をこえました。

今回のイベントでは、第1部に多摩市域にある明星大学から、多文化共生や外国人防災などに精通する菊池先生をお招きし

【多文化共生が拓くこれからの多摩】をテーマに講演をしていただきます。

さらに、多摩市で生活する外国人とのトークセッションを通して、多文化共生について皆さんに新たな視点やちょっとした気づきを

提供できればと思います

第2部では、多摩市国際交流センター主催の

国際理解講座（スペイン）を行います。

多くの皆様のご来場をお待ちしております！

登壇者紹介

（講演会講師、トークセッション）

菊池 哲佳 氏

2000年に仙台国際交流協会（現在の仙台観光国際協会）に入職。主に防災事業、外国人相談事業、外国につながる子どもの支援事業、地域日本語教育事業などを担当し、多文化共生の地域づくりに従事。2011年の東日本大震災では、外国人被災者の支援に取り組む。2025年4月より現職。そのほか、自治体の多文化共生推進計画の策定等に関わる。博士（政策・メディア）

（トークセッション 外国人市民）

ファム・ディン・トン 氏

2018年に技能実習生としてベトナムから来日。2021年に多摩市へ転入し、(社福)啓光福祉会(啓光学園)に勤務。2024年に介護福祉士(国家試験)と日本語能力試験1級(N1)に合格。現在は介護ビザで介護福祉士として活躍中。休日は気分転換に散歩や、ジムで体を動かすことを楽しんでいる。

（国際理解講座）

オスカル・メンドーサ 氏

スペインサラマンカ大学卒。1987年に来日。

現在は拓殖大学外国語学部スペイン語学科 特任講師としてスペイン語などの教鞭をとっている。多摩市国際交流センターの会員。



（明星大学 人文学部
国際コミュニケーション学科准教授）

濱崎 アンナ 氏

2025年夏に日本人配偶者との結婚を機にアメリカから来日。アメリカでは小学校の教員免許と特別支援学校の資格を所有。現在は多摩市国際交流センターの日本語教室で、楽しみながら、熱心に日本語を勉強中。

趣味はカフェ巡りやサイクリングなど。

